

立教 188 年 全教一斉にをいかけデー

年祭まであと 4 か月、勇んで開催



第 674 号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当日 1 番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email: skyou@live.jp

9 月は全教会布教推進月間として、各直属教会系統で活発に布教活動がとめられてきたが、その締め括りとして月末の 3 日間「全教一斉にをいかけデー」が実施された。28 日、各支部・組ごとの会場では、教区として「教会長路傍講演の日」と銘打ち、駅前など人の多く集まる街頭にて路傍講演や神名流しを積極的に展開。教会長を先頭に多くのようばく信者が参加した。続いて 29 日、30 日は住宅地で戸別訪問、リーフレット配布など活発な布教活動が繰り広げられた。参加者の中には、「教区・支部情報ねつと」の投稿を見て集まってきたようばくもおり、勇んだ活動となった。

東伊豆支部

東伊豆支部は、熱海伊東地区（1 組）と下田地区（2 組）に分かれ、布教活動を展開した。

同支部では、数十年前より伊豆急下田線沿線各駅で路傍講演を行っている。

初日は日曜日ということもあり、二組合同で実施。今回は熱海来宮駅を皮切りに、下田駅までの主要駅など 7 か所で教会長、ようばくが路傍講演をつとめた。

2 日目と最終日は、各組の拠点教会に集まり、おつとめ、諭達拝読、パンフレット読み合わせに続き、戸別訪問。

参加した教会長はじめ教友らは、お互いに

学び合い、勇ませ合う機会を得て、年祭活動仕上げの年に支部内が一手一つになって意義深い活動がとまった。

伊豆支部

伊豆支部では 4 組を二つのグループに分け、路傍講演を実施した。

28 日には、管内全駅路傍講演を行い、三島駅を皮切りに午後 5 時の修善寺駅まで、一日中にをいかけに従事した。

29 日、30 日は各組で拠点を設け、戸別訪問・リーフレット配布に汗を流し、充実した三日間を過ごした。

駿豆支部

駿豆支部は 28 日、組ごと駅周辺や大通りで路傍講演や神名流しを

行った。

29日、30日は、それ

ぞれの拠点を中心に戸別訪問やリーフレット配布を行った。

JR清水駅、草薙駅にて路傍講演。

29日には、興津分教会より興津駅まで神名流しを行い、駅前にて路傍講演。

30日には、蒲原駅、新蒲原駅にて路傍講演を実施した。

富士支部

富士支部は28日、富士駅北口、橋下交差点、ロゼシアター前交差点の3カ所に分かれて路傍講演、戸別訪問を行った。

29日は、ロゼシアター前交差点にて路傍講演。

30日は、芝川分教会を拠点に婦人会員が中心となって神名流しを行った。

中駿東支部

中駿東支部では28日、静岡駅前にて路傍講演、リーフレット配布を行った。

29日は静岡大教会に集まり、お願いづつめをつとめた後、戸別訪問に出かけた。

30日は各教会での活動となった。

東駿支部

東駿支部は、「人のために尽くす生き方」をテーマに掲げ、28日に

今年にはをいがけボードを使い、婦人会員も弁士となり、例年にも増して賑やかで華やかな活動となった。

中駿西支部

中駿西支部では、3つの教会を拠点に戸別訪問、ポスティング。

28日は、青葉イベント広場で路傍講演。参加者多数のため、急遽2カ所に分かれ行った。

30日は、静和分教会より静岡駅まで神名流し、駅南口で路傍講演を行った。

西駿支部

西駿支部は、4組に分かれて実施。

1組（焼津市）は28日、教務支庁周辺でリーフレット配布。29日は、焼津駅南口にて路傍講演とリーフレット配布を行った。

2組（藤枝市）は28日、美和分教会周辺のリーフレット配布を

行った。

3組（島田市）は28

日、島田分教会周辺、29日は白羽大教会周辺、30日は錦行分教会周辺にてそれぞれリーフレット配布を行った。

4組（旧榛原郡）は28日、JR金谷駅にて路傍講演とリーフレット配布、29日は白羽大教会周辺にて神名流しを行った。

29日は小雨が降る中であつたが、それぞれの会場より一層勇んでつとめられる姿があつた。

29日は小雨が降る中であつたが、それぞれの会場より一層勇んでつとめられる姿があつた。

中遠支部

中遠支部は、各組で活動を実施。

1組は28日、城東分教会、菊川駅間を神名流し。菊川駅にて路傍講演を行った。

29日は、浜岡福祉会

館でひのきしん。30日

は、元白羽分教会周辺で戸別訪問。

2組は、掛川分教会から掛川駅まで神名流し。掛川駅にて路傍講演。

3組は、愛野駅前にて神名流しと路傍講演。29日には、袋井駅前にて神名流しと路傍講演を行った。

4組は、周智分教会を拠点に路傍講演、戸別訪問。

5組は、豊田駅前にて路傍講演と神名流し。

6組は、豊田町駅前にて神名流しと路傍講演に汗を流した。

西遠支部

西遠支部は、三日間に延べ231名が参加。28・29・30日に渡り各

組長を芯に組毎神名流

し、路傍講演、戸別訪

問を行った。参加したようぶくは、今後もそれぞれ工夫を凝らして日頃から活動していくことを誓い合つた。

北遠支部

北遠支部は、各組に分かれて実施。

昨年より多くの参加があり、より一層勇んでつとめられた。

また、支部内の布教所長夫妻が障害のある息子さんとともに路傍講演している姿は、参加者の勇みの種になった。



立教188年 全教一斉にいをいかけデー 集計

		教会長	ようばく	その他
東伊豆	28日	14	7	2
	29日	10	2	0
	30日	10	5	1
	計	34	14	3
富士	28日	15	20	1
	29日	8	7	0
	30日	6	9	0
	計	29	36	1
中駿西	28日	19	50	6
	29日	16	24	0
	30日	19	25	0
	計	54	99	6
西遠	28日	27	64	7
	29日	22	31	0
	30日	27	53	0
	計	76	148	7

		教会長	ようばく	その他
伊豆	28日	11	25	2
	29日	12	25	0
	30日	16	21	2
	計	39	71	4
東駿	28日	17	24	1
	29日	7	4	0
	30日	6	15	1
	計	30	43	2
西駿	28日	20	39	2
	29日	21	34	0
	30日	23	41	0
	計	64	114	2
北遠	28日	13	22	7
	29日	14	16	0
	30日	12	13	0
	計	39	51	7

		教会長	ようばく	その他
駿豆	28日	22	95	8
	29日	19	83	2
	30日	24	82	4
	計	65	260	14
中駿東	28日	17	19	0
	29日	16	16	0
	30日	12	29	1
	計	45	64	1
中遠	28日	32	34	9
	29日	29	48	10
	30日	15	11	10
	計	76	93	29
全体合計	28日	207	399	45
	29日	174	290	12
	30日	170	304	19
	計	551	993	76

災害救援ひのきしん隊 竜巻被害被災地出動記録

災害救援静岡教区隊は、9月11日から21日まで、竜巻の被害に見舞われた牧之原市と吉田町へ出動した。

牧之原市では農家の倒壊したビニールハウスのビニール剥がしをはじめ、民家の瓦礫や倒木の撤去に当たり、細江地区の山林で竜巻によって飛散した瓦礫などの撤去・運搬作業に従事した。

吉田町では被災民家

にも出動し、敷地内の倒木や瓦礫の撤去、倒壊した小屋の荷物運搬、ブルーシート張りなどに尽力。また飛散した瓦礫の撤去・運搬作業

に従事した。他に特別養護老人ホーム「杉の子園」と東名高速道路高架上の側溝のごみ撤去などに取り組んだ。

また期間中、被災した吉田分教会では、瓦下ろしやブルーシート、ルーフィングによる復旧作業のほか、拠点として隊員たちを受け入れ、また西駿支部婦人会が連日、隊員の昼食づくりのひのきしんにつとめた。

9月21日ひのきしん終了後、吉田分教会にて解隊式がとめられ、10日間が締めくくられた。

災害救援ひのきしん隊作業内容まとめ

〈期間〉9月11日～21日

〈作業地域〉牧之原市、吉田町

〈参加人員総数258人（内婦人会56名）〉

〈作業成果〉

●教会1件 瓦礫撤去、屋根修繕、倒壊倉庫撤去、軽トラ23回運搬

●布教所1件 シャッター撤去、ブルーシート張り、ゴミ捨て軽トラ1回運搬

●ビニールハウスビニール撤去、ゴミ運搬、トラック24回運搬、パイプ切断150本

●個人宅ガレキ撤去、運搬 11件 軽トラ15回運搬

●老人ホーム1件 ゴミ撤去軽トラ1回

●高速道路高架下ゴミ撤去 トラック1回

●牧之原市細江地区飛来ガレキ撤去 2トン
トラック2回 軽トラ2回

●吉田町二ノズ 壊れた家の壁剥がし飛来瓦礫除去 軽トラ1杯





災害救援ひのきしん隊静岡教区隊

令和7年 台風15号による突風・竜巻被害出動記録

日時	作業現場	ひのきしん内容	出動人数
9月 ／ 11日	吉田分教会	結隊式 教区長挨拶 来賓(社協)あいさつ 吉田分教会屋根修繕(5名)、炊き出し(婦人会・昼食支援6名)	20
	牧之原市細江	倒壊倉庫の廃棄物仕分、積み込み搬出(15名) エフ・ブラッドのビニールハウスのビニール取り	
12日	吉田分教会	教職舎セメント瓦撤去、コンパネ、ルーフィング貼り 軽トラック 1回(5名) ○昼食支援(4名)	22
	被災布教所	シャッター撤去、外壁補修 軽トラック1回 3名	
	牧之原市細江	倒壊ビニールハウスのビニール剥がし約10棟 2トンドンプ7回 作業人員10名	
13日	吉田分教会	教会小屋解体搬出運搬 作業人員15名 軽トラック2回 昨日2tトラックに積んだネットの運搬 2tトラックと3tダンプ給油 作業人員2名	17
14日	吉田分教会	倉庫等整理片付け搬出運搬 軽トラック10回 8名 天井補修3部屋 作業人員3名 ○やきそば・おにぎり作り 1名 ○昼食支援(5名)	27
	牧之原市細江	ビニール剥がし約10棟 2トン車5回 作業人員10名	
15日	吉田分教会	倉庫等整理片付け搬出運搬 軽トラック5回 5名 民生委員依頼 桜の木伐採1本	23
	牧之原市細江	ビニール剥がし約10棟 2トン車1回 10名	
16日	吉田分教会	倉庫屋根張替え 軽トラ3回 3名 ○昼食支援(5名) 木の根撤去1本 吉田地区案件1本 2名	18
	牧之原市細江	ビニール剥がし4棟 パイプカット60本 作業台、可燃物搬出2トン車1回 6名	
17日	吉田分教会	○昼食支援(6名)	25
	牧之原市	ビニール剥がし、パイプ引出し 6棟 パイプ切断 約50本 11名	
	吉田町	小塩宅 ガレキ撤去 ダンプ2回 福田宅 倒木撤去、トタン撤去 軽トラ1回 絹村宅 倒木撤去 軽トラ1回	
18日	吉田分教会	屋根シート押さえ用土嚢作り 土嚢60袋 ○昼食支援(6名)	31
	吉田町	吉永宅小屋解体搬出運搬 軽トラ1回 6名 片岡共同墓地倒木伐採撤去2トン1回 軽トラ1回 7名 大石宅ガラス破損補修・倒木撤去運搬 軽トラ1回 1名 絹村宅屋根瓦撤去 2トン車1回 3名 絹村宅瓦礫撤去運搬 軽トラ1回 7名	
		牧之原市	
		ビニール剥がし6棟 軽トラ6台分 6名	
19日	吉田分教会	○昼食支援(婦人会5名)	30
	牧之原市	ビニール剥がし、ハウス内ブラ線切り22棟 15名 ビニールハウス解体撤去飛散ゴミ回収運搬 2トン2回 軽トラ1回 作業人員7名	
	吉田町	絹村宅 ガレキ搬出 軽トラ3回 4名 大石宅隣の空地 ガレキ片付け運搬 土嚢袋3袋 5名 三浦宅倒壊トタン小屋片付けトタン買い出し、貼付け ゴミ袋3袋 2名	
20日	吉田分教会	教会内瓦礫撤去 軽トラ1回 作業人員1名 ○昼食支援(婦人会4名)	12
	吉田町片岡	老人ホーム杉の子園側溝ごみ除去 軽トラ1回 8名	
	東名高速道	高架上側溝ごみ除去 軽トラ1回 作業人員6名	
21日	吉田分教会	案件 教会食堂片付け他 3名 ○昼食支援(3名) 解隊式	19
	吉田町	壊れた家の壁剥がし、倒木の片付け、飛来瓦礫除去、 ゴミ片付け 1名 軽トラ1杯	
	牧之原市	飛来瓦礫除去 9名 2トントラック3杯 軽トラ2杯	

9月11日～21日までの出動のべ人数 258名(内婦人会56名)

道の学生ひのきしんデー



9月15日、道の学生ひのきしんデーが教区学生会、学生担当委員会の共催のもと行われた。今回は、学生同士が、少年ひのきしん隊（サマースクール静岡）のLINEグループなどで誘い合い、また、おちばからも学生たちが駆け付け、高校生以上36名、中学生以下の少年会員41名、他担当委員会のメンバーも含め90名が参加した。当日10時焼津市の浜当日海岸に集合。集まったメンバーを班に分け、ゴミ集めゲームなどを織り交ぜながら楽しくひのきしんに励んだ。



ひのきしん終了後は、教務支庁に移動し、駐車場にてバーベキュー。焼き肉、焼きそば、かき氷に舌鼓を打った。昼食後は神殿にて班ごとに分かれ、学生たちが考えた様々なゲームで盛り上がった。参加者からは、「とても楽しかった！また参加したい」と喜びの声も上がり、中には「次の行事は何ですか？」と尋ねる声もあった。岡野多吉学生担当委員長は、「今回、予想以上に集まった。これは、サマースクールのつながりによる学生たちによるSNSなどを使った声掛けの結果だと思う。これを来年の春のおちばがえり大会につなげていきたい」と語った。



新任・教会長を拝命して

富士支部

沼津大教会部属

今泉分教会五代会長

井出 拓馬



この度3月26日、今

泉分教会五代会長の理のお許しを戴きました。

私自身、教理も経験

も大変未熟で、若輩者

ではございますが、会

長という理を受けたか

らには、理の御用の上

に、精一杯つとめさせ

ていただきたいと思います。

ます。

今泉分教会の道は明

治29年に二代会長が2

歳の時、極度の消化不

良で苦しんでいたとこ

ろ、天理教の布教師に、

にをいをかけられお救

け頂いたことから始ま

ります。その後、御恩

報じのため布教おたす

けに励み、井出清作を

初代会長として、大正

13年7月24日に今泉宣

教所の名称の理を戴き

ました。

以来、歴代の会長様

方が丹精込めて繋いで

きて下さいました。理

に感謝し、教会設立の

元一日を胸に、御存命

の教祖におもたれし、

たすけ一条の御用に喜

び勇んでつとめてまい

りたいと存じますので、

今後共、どうぞ宜しく

お願い申し上げます。

西遠支部

敷島大教会部属

敷知分教会五代会長

神村 受宏



この度5月26日、敷

知分教会五代会長の理

のお許しを戴きました。

敷知分教会は大正14

年12月24日、敷知宣教

所としてお許し戴きま

した。神村家は、彦五

郎の妻まつ、の腸満の身

上から信仰に入り、熱

心にをいがけ・おた

すけをする中に、彦五

郎が二代会長となりま

した。三代神村栄吉会

長、四代神村重吉会長

そして私が五代会長と

ならせていただきました

た。

私は天理教校附属高

等学校で3年、第二専

修科で5年、少年会本

部で3年、併せて11年

おちばで仕込んでいた

できました。

私は血液ウイルスと

いう身上を見せていた

だいておりますが、教

会長として、精一杯に

をいがけ・おたすけ、

信者さん方の丹精に励

みたいと思います。

教祖140年祭三年千日

の3年目、まだまだ未

熟な私ですが、どうか

よろしくお願いいたし

ます。



道友社の新刊書 10月1日発売!!

※道友社の販売所では9月25日から販売します。

天理教道友社

注文受付 0743(63)4713

Webストア <https://doyusha.net>



『天理教
教典』は
成人の
道しるべ

教理を体系的に
順序立てて胸に治め、
信仰者としての
確かな歩みを進めるための
よふべく必読の書!

『みちのとも』長期連載(立教181~185年)の書籍化!
心の成人の糧に、丹精の一助に。
教話を取り次ぐ際の参考に、ぜひご活用ください。

理を味わい、
身に行う

教典
入門

井上護夫 本部長

Inoue Morio

「陽気ぐらしの世界へと至る
道筋は、教典前半の教理篇、そ
して後半の信仰篇を、それぞれ
最初から順序よく読むことに
よって、心の内におのずと治まる
ように書かれています。また、
教理篇では理を味わうという
こと、そして信仰篇では身に行
うということに、特に重点が置
かれているといつてよいでしょう。
(本文から)

読書会の皆様へ——
本書は定期配本です。

定価2,090円[本体1,900円]
A5判並製/392ページ

